

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 五日市センター
	所在地	あきる野市館谷台 17
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外(植木等のせん定を含む。)、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houjin/center.html
指 定 期 間		平成 30 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
開館等日数(日)	269	264	263	243	164
延べ利用者数 必須事業(人)	2,623	2,272	2,111	2,190	1,616
前年度比(人)	△244	△351	△161	79	△574
前年度比(%)	91.5%	86.6%	92.9%	103.7%	73.8%
延べ利用者数 自主事業(人)	2,362	2,488	2,713	3,020	2,126
前年度比(人)	95	126	225	307	△894
前年度比(%)	104.2%	105.3%	109.0%	111.3%	70.4%
利用料金 合計 必須事業(千円)	2,296	1,979	1,850	1,862	1,374
前年度比(千円)	△246	△317	△129	12	△488
前年度比(%)	90.3%	86.2%	93.5%	100.6%	73.8%
利用料金 合計 自主事業(千円)	2,328	2,765	2,060	2,617	2,687
前年度比(千円)	103	437	△705	557	70
前年度比(%)	104.6%	118.8%	74.5%	127.0%	102.7%

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項 目		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
収 入	指定管理料	13,927	13,791	13,735	13,882	13,897
	利用料金収入	2,296	1,979	1,850	1,862	1,374
	自主事業収入	2,328	2,765	2,060	2,617	2,687
	その他の収入	0	0	0	0	397
	収入計	18,551	18,535	17,645	18,360	18,354
支 出	人件費	10,210	9,955	9,333	11,606	10,152
	維持管理経費	5,244	5,498	5,011	5,485	4,446
	自主事業関係経費	2,225	2,174	1,695	1,854	1,229
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	17,679	17,628	16,040	18,945	15,826
収支(収入-支出)		872	908	1,606	△585	2,528

※数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合があります。

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
必須事業の利用者には、年2回のアセスメント作成時に個別で面談を行い、講座受講者の方には、声かけをさせていただき要望・改善策を伺っています。多様な意見も大事なので、意見箱の設置も継続して行っています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
必須事業の利用者から、「センターの景色が素敵」、「心が安らぎます」という意見がありました。自主事業ではマスクを外してしまう方がいて、他の方から注意して欲しいと要望があり、入館時にセンター内ではマスク着用の声かけを実施しました。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
必須事業では、外出が実施できなかったため、隣接する小倉公園で昨年度も好評だった散歩やお花見をしました。特に体を動かすレクリエーションに力を入れ、体力維持の増加にもつながりました。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
使用していないコンセントは抜き、エアコンの温度調整をこまめに行い、水道もすぐ閉めるなど、小さいことですがコツコツ取り組みました。また、ご寄付をいただいた物は必須事業の材料として手工芸に使用し、経費削減に努めました。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
必須事業では、介護申請する方が増加し、利用者が減少傾向にあることから利用者への宣伝、自治会や送迎地域への広報活動を行いました。緊急事態宣言中には、利用者に手紙を配布し、コミュニケーションを取ったことにより、「張り合いになった」「生きがいになった」と温かいお言葉をいただきました。自主事業では、麻雀講座が人気で、昼食持参で午前午後と楽しまれている方が定着しています。講座受講者の方には五日市センターでの要望を伺い、地域の方々のコミュニティーの場となり、多様に交流できることに努めていきます。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上
意見箱や個別面談により感想、要望など、利用者の声を広く受け止め、ニーズに合った講座に取り組みことは評価できます。また、利用者に好評の事業を継続することで利用機会の増加が図られています。引き続き、利用者多様な意見に耳を傾け、市民サービスの向上に努めてください。
経費削減の取組
日頃から節電・節水を心がけ、こまめにエアコンの温度調整を行うなど、節減に取り組んでいることは評価できます。また、リサイクル品を事業の材料に活用することで、経費の節減につながっていますので、引き続き、センター運営に支障が出ないよう心がけ、経費削減に取り組んでください。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、延べ利用者数は減少していますが、人気講座により利用者が定着し、地域のコミュニティーの場となっています。また、コロナ禍による活動の制限がされる中、利用者に手紙でコミュニケーションを取ることで、張り合いや生きがいを感じさせるなど、利用者寄り添ったサービスが展開されています。 コロナ禍による利用者離れを最小限に抑えるため、引き続き、既存利用者の継続、また、広報活動による新規利用者の獲得を目指し、安全かつ快適で利用しやすい施設の管理運営に努めてください。

総合評価	A
------	---

※評価基準

S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。

A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務

務を行っている。

B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。